



EBATA, TOMOICHI (江端 智一 -
エバタ トモイチ)

主任研究員

マネージャ: SATORU HORI (堀 悟 - ホリ サトル)

評価者:

2024年度 最終評価 – IC[最終総合評
価・ 下期総合評価]

組織: SATORU HORI (堀 悟 - ホリ サトル) (SUP-
ORG-40028)

勤務地: (HITACHI) Japan

2024/04/01 - 2025/03/31

総合評価

社員の総合評価

レーティング: 期待通り

コメント: 24年度を通じて、
(1)(水)依頼研では映像転送制御の研究開発を推進し、研究報告書・特許明細書を作成するとともに、プログラム開発も計画通り進行した。
(2)社会人大学では、複数の学会発表・論文投稿を実施し、学位取得に向けて確実な進捗を達成した。
(3)GSKでは、生活者モデルの構築と地域GISとの連携を進め、シミュレーションの実用化に向けた成果を上げた。
24年度は、各プロジェクトのKPIを達成し、計画に沿った成果を得ることができたと思う。

目標

(水)依頼研の「地車間での映像転送技術の開発」の開発担当者として参画し、地車間の限られたリソースの中で実現可能な映像転送制御の開発とサービス検討を行う。

- (1)研究報告書(24/09)
- (2)特許明細書「映像転送制御方式」(24/09)
- (3)映像転送制プログラムの作成(プログラムコード) (25/03)

期日: 2025/03/31

カテゴリ: 2024年度
03_交通システム分野における技術開発を通じた24中計完遂への貢献と、強みと基盤」の明確化、成長施策の立案・実行 03_Contributing to the achievement of t Medium-Term Management Plan through technology development in transportati field. Clarifying our strengths in "technological foundation" and formulating and irr growth strategies

加重値: 45

社員の評価

レーティング: 期待通り

コメント: 24年度下期における、上記(3)について、
(i)コマンドレベルの制御を全ソースコードに展開することで、当初の性能を数倍に向上させる改良と柔軟な機能変更を可能にした。
(ii)水戸工場内に実験検証システムを構築し、隔週ベースで(水)出張を行い、問題点の抽出と改良を重ねた。
以上より、当初設定した目標の達成に至ったと考える。

22年10月に入学した社会人大学で所定の単位の修得、学会発表、論文投稿を行い学位獲得をめざす

- (1)土木計画学研究会春大会発表(24/05)
- (2)土木学会ジャーナル投稿(24/06)
- (3)土木計画学研究会秋大会アブストラクト投稿(24/7)
- (4)土木計画学研究会秋大会予稿投稿(24/10)
- (5)土木計画学研究会秋大会発表(24/11)
- (6)土木学会春大会予稿投稿(25/2)

期日: 2024/03/31

カテゴリ: 2024年度

関連の組織目標: 04_交通システムを変革する革新技術の創出 04_Creating innovative technologies transform transportation system

加重値: 10

社員の評価

レーティング: 期待通り

コメント: 24年度下期における、上記(4)(5)(6)について、
(i)上記の予稿・論文の投稿および学会発表を実施した。
(ii)上記(i)の検討を行う為に、毎週の全体ゼミに出席し、発表を行っており、目標達成に向けて着実に取り組んでいる。
当初の計画に沿って進捗しており、設定した目標を達成しつつあると考える。

DEI行動目標: 自分または他人のメンタルヘルスを考慮したコミュニケーションに最大の配慮をする。

普段から口頭または文面の内容に十分に留意し、外観からは分かりにくい心理状態を配慮したコミュニケーションへの創意工夫を行う。

期日: 2025/03/31

カテゴリ: 2024年度

関連の組織目標: 01_自身とチームの安全、DE&Iを含む多様性とQoLおよび研究力を向上する働き
01_Promoting working style that improves personal and team safety, diversity inc
DE&I, quality of life (QoL), and research capabilities

加重値: 5

社員の評価

レーティング: 期待通り

コメント: 24年度下期において、
(i)相手の心理状態を意識し、言葉の選び方や伝え方を調整するよう努めている。特に、ストレスを感じている可能性がある場合は、共感を示しつつ、柔らかい表現を心がけている。
(ii)メールやチャットでも誤解を避ける工夫を行っている。
今後もメンタルヘルスに配慮した適切なコミュニケーションを続けていきたい。

GSK:Digital Transportation for CXにおける生活者モデル化による地域活性化施策の検討をおこなう。

- (1)オープンデータを活用した生活者モデル化検討報告書 (24/09)
- (2)地域GISと連携した生活者モデリングに基づくシミュレーションプログラム (25/03)

期日: 2025/03/31

カテゴリ: 2024年度

関連の組織目標:

03_交通システム分野における技術開発を通じた24中計完遂への貢献と、強みと基盤」の明確化、成長施策の立案・実行 03_Contributing to the achievement of t Medium-Term Management Plan through technology development in transportati field. Clarifying our strengths in "technological foundation" and formulating and ir growth strategies

加重値: 40

社員の評価

レーティング: 期待通り

コメント: 24年度下期における、上記(2)について、
(i)インタビューデータを基にしたマルチエージェントシミュレーションの適用が可能となり、その結果が実測データと概ね一致することを確認した。
(ii)定性的データを定量化する手法とその有効性の道筋を示すことができた。
現在、事業部からも関心を持たれており、当初の目標を達成したと考える。

コンピテンシー

People Champion (一人ひとりを活かす)

多様な人材を活かすために、お互いを信頼し一人ひとりがパフォーマンスを最大限に発揮できる安心安全な職場(インクルーシブな職場)をつくり、積極的な発言と成長を支援する。

- ・ [心理的安全] 個々のパフォーマンスを最大限に引き出せるように、身体的かつ心理的に安全な職場づくりに貢献していますか？
- ・ [声をあげる] チームが多様な意見を活かして共通のゴールをめざせるように、声をあげて、受け止め、建設的に意見し合っていますか？
- ・ [エンゲージ] ビジョンと方向性に沿って行動し、成長のために積極的にフィードバックを交換していますか？

社員の評価

レーティング: 期待通り

コメント: 心理的安全を確保するため、健康状態を適切に共有し、安心して議論できる環境づくりに努めている。映像転送の研究では、定例などの場で制御方式について積極的に意見を交わし、より精度の高い成果を目指してきた。

Customer & Society Focus (顧客・社会起点で考える)

社会を起点に課題を捉え、常に誠実に行動することを忘れずに、社内外の関係者と協創で成果に責任を持って社会に貢献する。

- ・ [誠実] 率直かつ透明なコミュニケーションを通じた信頼の文化づくりに貢献すると共に、「基本と正道」を徹底していますか？
- ・ [社会起点] 社会を起点に課題を捉え、社内外の関係者との協創で新しい価値の創出に取り組んでいますか？
- ・ [自分ごと化] 社会課題を自分ごととして捉え、顧客の成功に責任を持って取り組んでいますか？

社員の評価

レーティング: 期待通り

コメント: 社会人大学などでの都市交通の研究を通じて、正確なデータの活用と透明性の確保、個人情報の保護を徹底しながら、「未来の自分のまち」を作るという意識で取り組んできた。

Innovation (イノベーションを起こす)

新しい価値を生み出すために、情熱を持って学び、現状に挑戦し、素早く応えて、イノベーションを加速する。

- ・ [好奇心] 情熱を持って、個人と事業の成長のための学びや新たな挑戦の機会を追求していますか？
- ・ [リスクテイク] 前向きな変化を見据えて、計算されたりリスクを取って現状に挑戦していますか？

・ [アジャイル] 変化に応じてタイムリーに決断し失敗を学びに変えていますか？

社員の評価

レーティング: 期待通り

コメント: 生活者行動の研究を通じ、新たな分析手法を学び、より良い都市設計の可能性を探求してきた。調査結果をもとに仮説を立て、柔軟に検証と改善を繰り返しながら、革新的なアプローチを模索してきた。

下期総合評価

評価対象期間中の総合評価を選択し、評価コメントを入力して下さい。目標とコンピテンシーの双方のパフォーマンスを踏まえ、評価を実施して下さい。

セクション サマリ

社員の評価

レーティング: 期待通り

コメント: 24年度下期においては、
(1)(水)依頼研の「地車間での映像転送技術の開発」において、制御最適化による性能向上と実験検証を通じて目標を達成した。
(2)社会人大学では、学会発表・論文投稿を進め、計画通りに学位取得に向けた進捗を維持している。
(3)GSKでは、マルチエージェントシミュレーションの有効性を実証し、定性的データの定量化手法を確立した。
全体として、各課題の成果を着実に積み上げ、24年度下期の目標を達成したと考える。

能力開発アイテム

社内外の人と技術を繋ぐ

その他の情報: 交通システムの事業化検討をしている社内部署、大学、および社外交通コンソーシアム等への参加などの連携を図っていく。

ステータス: 進行中

関連項目: 顧客や社会が求めるサービス&プロダクト(イノベーション)を提供する

開始日: 2024/04/01 完了日: 2025/03/31

セクション サマリ

社員の評価

コメント: 学会活動を通じて、多くの研究者との交流や情報交換を行い、最新の知見を得る機会となった。これにより、交通システムの事業化に向けた視野を広げ、今後の連携の可能性を探ることができた。引き続き、この活動を継続し、研究者や関係者とのネットワークを強化していく予定である。